

平成 27 (2015) 年 6 月 8 日

日本臨床教育学会・北海道臨床教育学会
第 5 回研究大会 (合同開催) のご案内 (第 1 次)

日本臨床教育学会 会長
田中 孝彦 (武庫川女子大学)
北海道臨床教育学会 会長
庄井 良信 (北海道教育大学)

青葉の候、会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本臨床教育学会と北海道臨床教育学会は、ともに深い子ども理解や他者理解にもとづく総合的な人間発達援助学を探究してまいりました。両学会には、教育、心理、福祉、看護、医療分野の専門職に従事する人びとが集い、問いや課題を探究し合うことをとおして、それぞれの専門性を問いなおしつつその質の向上を目指してまいりました。

2015 年は、両学会共に、第 5 回大会という一つの節目を迎えます。この大会で、両学会の研究活動とそれを契機にした出会いと協働がさらに広がり深まることを願って、二つの学会が合同で大会実行委員会を組織し、大会に向けた準備を重ねてまいりました。

日本臨床教育学会と北海道臨床教育学会の第 5 回大会は、9 月 26 日と 9 月 27 日の両日、北海道教育大学札幌校を会場に合同で開催されます。大会では、全国規模の学会活動で積み上げられた課題研究やシンポジウムをはじめ、北海道という地域で開拓されつつあるテーマでのシンポジウムが企画されています。また、自由研究として、一般研究や実践事例研究も広く募集され、多様で深みのある研究テーマが交流される予定です。

お誘い合わせの上、今大会に多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

開催要項

1. 日時：2015 年 9 月 26 日 (土)・27 日 (日)

※ 9 月 25 日 (金) 16:00~18:00 理事会 (予定)

※ 1 日目 (9 月 26 日)

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:15	17:15
受付	自由研究発表 (A) 一般研究	昼食	課題研究 I・II・III・ IV・V・特別課題研究	休憩	シンポジウム I	

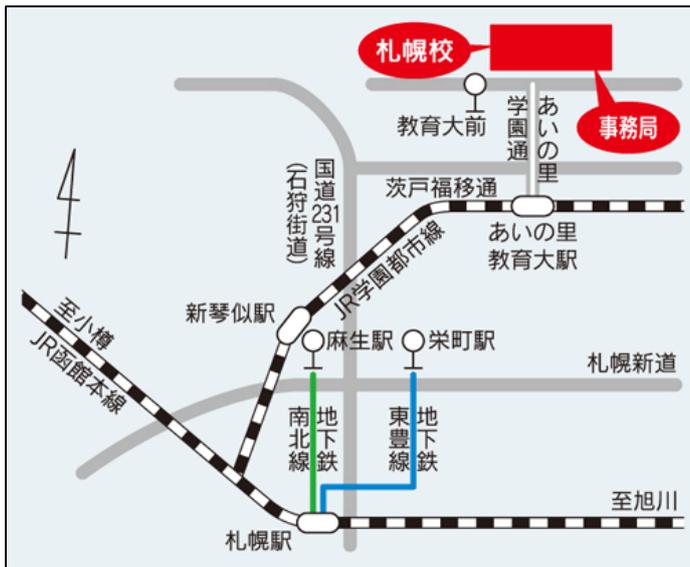
※ 18:00~19:30 懇親会 (会場：ガトーキングダムサッポロホテル)

※ 2 日目 (9 月 27 日)

9:00	9:20	9:50	10:20	10:30	12:30	13:30	15:50
受付	定期総会 I (日本)	定期総会 II (北海道)	休憩	シンポジウム II	昼食	自由研究発表 (B) 実践事例研究	

2. 会場：北海道教育大学 札幌校

(住所：〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5)



【主な交通手段】

JR

学園都市線「あいの里教育大駅」下車、徒歩20分

地下鉄・バス

地下鉄南北線：

「麻生駅」から中央バス「麻 24 あいの里教育大線」で「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分

地下鉄東豊線：

「栄町駅」から中央バス「栄 23 栄町・教育大線」で「教育大学前」下車、徒歩2分

3. 大会実行委員会

実行委員長	庄井 良信 (北海道教育大学)
副実行委員長	間宮 正幸 (北海道大学)
	守屋 淳 (北海道大学)
	田中 昌弥 (都留文科大学)
	富田 充保 (相模女子大学)
	福井 雅英 (滋賀県立大学)
事務局長	畠山貴代志 (北海学園札幌高等学校)
事務局次長	正武家重治 (札幌市立中央小学校)
	上田 孝俊 (武庫川女子大学)
実行委員幹事	荒木 奈美 (札幌大学)
	池田 考司 (北海道奈井江商業高等学校)
	井上 大樹 (北海道文教大学)
	内田 雅志 (札幌市児童心療センター)
	齋藤 知子 (札幌市養護教諭)
	中根 照子 (釧路市立釧路小学校)
	宮井 真由 (公立学校スクールカウンセラー)
	宮原 順寛 (北海道教育大学)

4. 後援 申請中

5. 共催 北海道教育大学 (申請中)



6. 課題研究及びシンポジウムの概要

* 課題研究Ⅰ：現代の子どもと子ども理解

<企画の趣旨>

「子ども理解」を主題とする課題研究第一部会は、昨年度の研究大会以降3回の研究会を開催し、相談と教育の現場における実践を振り返り、そこにおける「子ども理解の方法意識」に焦点を当てて検討を重ねてきた。子どもが表出する言動の意味を判断した根拠や、そこに反映された自分(実践者)の意識を捉え直すことを通して、「子ども理解」の実践的方法に迫りたいと考えたからである。2015年度の研究大会は上記のテーマの下に「子ども理解」の方法意識について論議を深めたい。

* 課題研究Ⅱ：子どもの育ちを支える地域からの共同

<企画の趣旨>

今日地域には、子ども・若者支援にかかわる様々な取り組みが存在している。けれども積み重なる困難を抱えた子ども・若者の人生への支援に、少なくない切れ目やすき間が存在していることも事実である。そこで、そうした切れ目・すき間を埋めようと試みる支援組織や個人取り組みの過程と質的变化、ならびにその位置付け・重要性を参加者とともに考えあいたい。そのなかで、学校を含んだ多様な居場所づくり(横軸)と各年齢段階(縦軸)における支援の網の目を、子ども・若者たちとともにどう作っていったらよいのか、事例をもとに議論してみたい。

* 課題研究Ⅲ：発達援助実践と発達援助専門職

<企画の趣旨>

「教育学を問い直す、教育の専門性を問い直す、その養成を問い直す」という観点から、教育現場における子どもたちと支援者の、心身を通した発達支援の課題を問い直す。この分科会においては、「身体性」「間身体性」を鍵概念とする問い直しの重要性が共有されてきている。今次の報告のひとつは、肢体不自由を持つ児童生徒の自立活動実践から「身体性」や「間身体性」を問う報告である。もう一つは、スクールカウンセラーからの「ふれる」をキーワードとした「身体性」を問う実践報告である。

* 課題研究Ⅳ：学校・教師の問題/教育実践と教師

<企画の趣旨>

学校現場では、引き続き「学力テストの平均点競争」体制が強化され、テスト対策が優先されたような動きが広がっている。それは、日本の教師が子どもと触れ合いながら創造的に展開してきた教育実践の幅を狭め、結果として学ぶよろこびを奪い、子どもの社会連帯

性を育て人間的成長を図るような教育実践を困難にしている。それはまた、教師本来の生き甲斐やよろこびも奪うことになる。一方で教員免許の国家資格化の動きもある。こうした状況下で、①子どもの声を聞き、子どもとともに学ぶ創造的な実践を検討すること、②教師が実際に現場で直面している課題にそってその専門性を問い直すこと、を本課題研究の今回の柱とした。

* 課題研究Ⅴ：臨床教育学の方法と概念

<企画の趣旨>

アクティブ・ラーニングの小・中・高校への導入が、次期学習指導要領改訂の柱になろうとしている。アクティブ・ラーニングには、日本の教師が行ってきた創造的な教育実践と重なる面がある一方、子どもの認識の内実を無視した形式化が行われれば、学習の疎外をより深刻化させる危険も含まれている。今年度の課題研究では、この問題を検討する枠組を得る視点から、子どもの認識に即した臨床教育的な教育実践研究の方法を模索する。

* 特別課題研究：東日本大震災と臨床教育学

<企画の趣旨>

日本臨床教育学会は、東日本大震災の直後から、「震災調査チーム」を作り、現地訪問・聴きとり調査を重ねてきた。大震災から四年半余りが経つが、人々の暮らし、生活圏としての地域の再建が順調に進んでいるとはとても言えない。そのなかで、人々の疲労や子ども・若者の成長上の問題の蓄積も、新たに目立ってきている。そこで、今回は、これまでの調査をふりかえり、今後の援助的・教育的実践の課題、臨床教育的な調査・研究の課題を考えあいたい。



* シンポジウムⅠ：<臨床>を生きる援助者のライフヒストリーを聴く

— 地域臨床教育学を構想するために —

<企画の趣旨>

臨床教育学は、唯一性をもった尊厳ある他者の声を聴き、その語りを傾聴しあう臨床の場を共有し、そのことを通して、地域における総合的な人間発達援助学を構想し合ってきた。今日の厳しい社会状況を生きる一人ひとりの感情の機微に触れる語りを聴き合いながら、ケアと発達援助の実践、あるいは、地域・社会や文化・政策の課題や可能性を問い直し、みずからの専門性を高め合ってきた。今回のシンポジウムでは、いま北海道で構想しつつある地域臨床教育学の可能性を探究したい。



* シンポジウムⅡ：発達援助における情動・感情の問題

<企画の趣旨>

本学会「設立趣意書」に掲げる臨床教育学の研究諸課題をさらに深めるために、重要な検討課題のひとつである情動・感情の問題を取り上げる。本シンポジウムは、これを実践的にも理論的にも深める機会としたい。報告は、通常、学校教育から遙か遠くに位置すると考えられているだろう少年院・刑務所における臨床教育学的実践である。ここでの実践における情動・感情の問題をヴィゴツキーとワロンの心理学・教育学から読み解く。



7. 自由研究発表の様式と申し込み

* A：一般研究：1日目（9月26日）10:00～12:00

* B：実践事例研究：2日目（9月27日）13:30～15:50

① 二つの発表様式

日本臨床教育学会も、北海道臨床教育学会も、自由研究発表は「A：一般研究」と「B：実践事例研究」に分かれています。研究大会で自由研究発表を希望する会員は、AかBのいずれかに応募してください。ただし、同一報告をAとBの両方で発表することはできませんので、ご注意ください。

また、A、Bのどちらに応募していただく際にも、所属する学会の倫理規程を遵守し、個人情報保護等には十分ご注意ください。なお、両学会の倫理規程につきましては、会員が所属する各学会のホームページからご覧いただけます。

② 一般研究と実践事例研究の違い

A：一般研究

臨床教育学の研究や実践の発展に関する一般的な学術研究を募集します。子ども理解、障碍児・者の理解・支援、教育実践、幼児教育・保育、若者自立支援、教師教育、教師の専門性、人間発達援助、教師・援助者の困難性、若手教師・援助者の自己形成、心の傷つきとケア、子ども・若者の身体、教育思想・教育実践史などの領域が、これまで報告されています。

B：実践事例研究

学校や福祉施設、医療・援助に携わる諸機関、NPO・NGOなど、地域における一回性の教育実践や発達援助実践を、研究者と実践者が互いの立場を尊重しながら共に学びあい、新たな問いや研究の端緒を創発することをめざします。教育現場はもとより、心理、福祉、保育、養護、保健、療育、医療・看護、行政など、さまざまな専門領域の、あるいは領域を越えた発達援助実践に関わる研究を募集します。

自由研究発表に応募いただく際に、発表経験の有無は問いませんが、それぞれの学会事務局あるいは大会実行委員会事務局等から、必要に応じて、事前に発表様式の確認やご相談をさせていただきます場合がありますので御承知おきください。

また、A・Bともに、申し込みされた発表内容を確認し、大会実行委員会と両学会理事会の議を経て問題領域別のグループを編成いたします。編成した結果は、7月下旬に発送予定の第二次案内及び当日の大会プログラム等でご確認いただけるようにいたします。

③ 発表の時間

A：一般研究における個人研究の場合、発表時間は20分、質疑は5分です。また、共同研究で発表者が複数いる場合、発表時間は40分、質疑は10分です。なお、数名の発表が終わった後、編成された発表グループ（これは7月下旬以降の第2次案内でお知らせします）の全体討論が15分程度予定されています。

B：実践事例研究における個人研究の場合、発表時間は40分、質疑（または応答的なカンファレンス）は20分です。なお、共同研究で発表者が複数いる場合でも、1つの発表につき、発表時間は40分、質疑は20分ですのでご注意ください。

④ 申し込み方法

今大会の「自由研究発表」を希望される会員（共同研究発表の場合はその代表者）は、この大会案内に同封した申込書または、会員が所属する学会のホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、郵送または電子メールに添付して以下の宛先（大会実行委員長の庄井良信）へ、期限の6月30日（火）までに必着でご提出ください。

◆申し込み先

1) 電子メールに添付して送付いただく場合のアドレス：

E-mail: crohde2011@yahoo.co.jp

2) 封書で郵送していただく場合の宛先：

〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学札幌校内 第5回研究大会実行委員長 庄井良信 宛

→ ※ 自由研究発表申込の〆切は、6月30日（火）必着です。

⑤ 相談援助について（※ 北海道臨床教育学会員のみ対応です）

北海道臨床教育学会では、研究発表にあたり要望に応じて相談援助を受け付けております。「発表を検討しているが、どのようにまとめたらよいか」などの疑問などに経験豊かな会員（援助者）を紹介し対応いたします。相談援助を希望する方は、以下まで問い合わせ願います。なお、メール送信の場合は件名を「第5回大会発表相談援助」と明記願います。

相談援助問い合わせ先（北海道臨床教育学会事務局）

E-mail : jimukyoku@hokkaido-rinkyu.com

郵送先：〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学宮原順寛研究室気付 北海道臨床教育学会 事務局 宛



⑥ 発表要旨集録原稿の作成

発表申込をされた方には、後日（7月下旬頃に）発表要旨集録の原稿執筆を依頼いたします。詳細な様式はその際にご連絡いたします。なお、発表要旨集録の原稿〆切は8月24日（火）必着です。



7. 大会参加費と参加申込方法

1) 大会参加費

正会員、臨時会員ともに下記の通りです。

	事前申込	当日申込
一 般	4,000 円	4,500 円
学生・院生	2,000 円	2,500 円

（注）参加費は、発表要旨集録代を含みます。なお、大会に不参加で発表要旨集録の入手を希望される方は1部2000円で頒布します。希望者は、第2次案内（7月下旬発送予定）に添付される事前参加申込書の所定の欄に記入し、必要料金を添えてお申込みください。

2) 参加申込方法

申し込みにつきましては、7月下旬に送付される第2次案内郵送時に大会参加申込用紙を配付いたします。また、7月下旬以降はインターネットからも申し込みできるよういたします。その際は、日本臨床教育学会または北海道臨床教育学会のホームページでもご案内いたしますのでご覧いただきご活用ください。

8. その他

1) 宿泊について

会場近隣には、宿泊施設がありませんので斡旋いたしません。札幌駅周辺や中心部に多数ありますので、各自ご予約願います。なお、秋の大型連休前後の日程のため混雑が予想されます。お早目のご予約をお勧めいたします。

2) 会場移動の交通手段について

自家用車で来られる方は、大会会場に駐車場があります。数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

<問い合わせ先>

日本臨床教育学会・北海道臨床教育学会
第5回研究大会実行委員会

〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学札幌校 庄井良信研究室内

E-Mail : crohde2011@yahoo.co.jp